

推薦調書（アイデア部門）（注1）

推薦都道府県

大阪府

地方公共団体名	堺市		
アイデア名称	あんしん睡眠サポート事業		
連携自治体、企業、団体等	NTT PARAVITA(株)、西日本電信電話(株) (NTT西日本)、パラマウントベッド(株)、大阪大学大学院医学系研究科		
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的な内容）	(種類) (注2)	①	(左記が①の場合の分野) 医療
	<p>【デジタルを活用したアイデアの全体概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者3社及び大阪大学大学院と堺市が連携し、堺市内に住むひとり暮らしの65歳以上の方または65歳以上のみの世帯を対象に、睡眠リズムを見える化するシート型センサーを寝具の下に設置することで睡眠に関する体動・呼吸数・心拍数データを収集・分析し、実証参加者やその家族への睡眠リズムのレポート（睡眠レポート）の配信、保健師等による電話での健康アドバイスを通じて、高齢者の健康管理及び日々のゆるやかな見守りの支援を目指すもの（令和3年11月～令和4年7月の期間で無料実証実施中）。 <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会が進行する中で、ひとり暮らしの高齢者や高齢者同士の世帯が増加しており、急な体調変化が起きた際の対応などに不安を抱える方が増えている。特にコロナ禍のため、屋内で過ごす時間が長くなっている高齢者の方も増加しており、「顔の、見える関係性」以外での、居宅内の見守りの仕組の構築に向けた取組が必要となっている。 ・こうしたことを踏まえ、睡眠リズムの測定に基づく健康管理及び見守りのための実証を実施することとなった。 <p>【解決する課題の具体的な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堺市の高齢者数は約23万人、高齢者のひとり暮らしは約7.4万世帯、また高齢者のみの世帯数は約4.9万世帯であり、コロナ禍において特に健康管理や屋内での見守りが課題となっている。 ・このため、睡眠リズムを視える化するシート型センサーを活用したあんしん睡眠サポートのサービス提供を行うことで、日々の健康状態の管理や離れて住む家族等による見守りを可能とする。 ・さらに、堺市は参加者の生活リズムの変化を基にした病気等の兆候の早期発見により、高齢者の健康状態の悪化の未然防止や、介護予防の促進につなげていくほか、NTT PARAVITA社は本実証プロジェクトの効果をもとに、健康アドバイスを含めた睡眠センサー活用サービスの事業化をめざす。 		

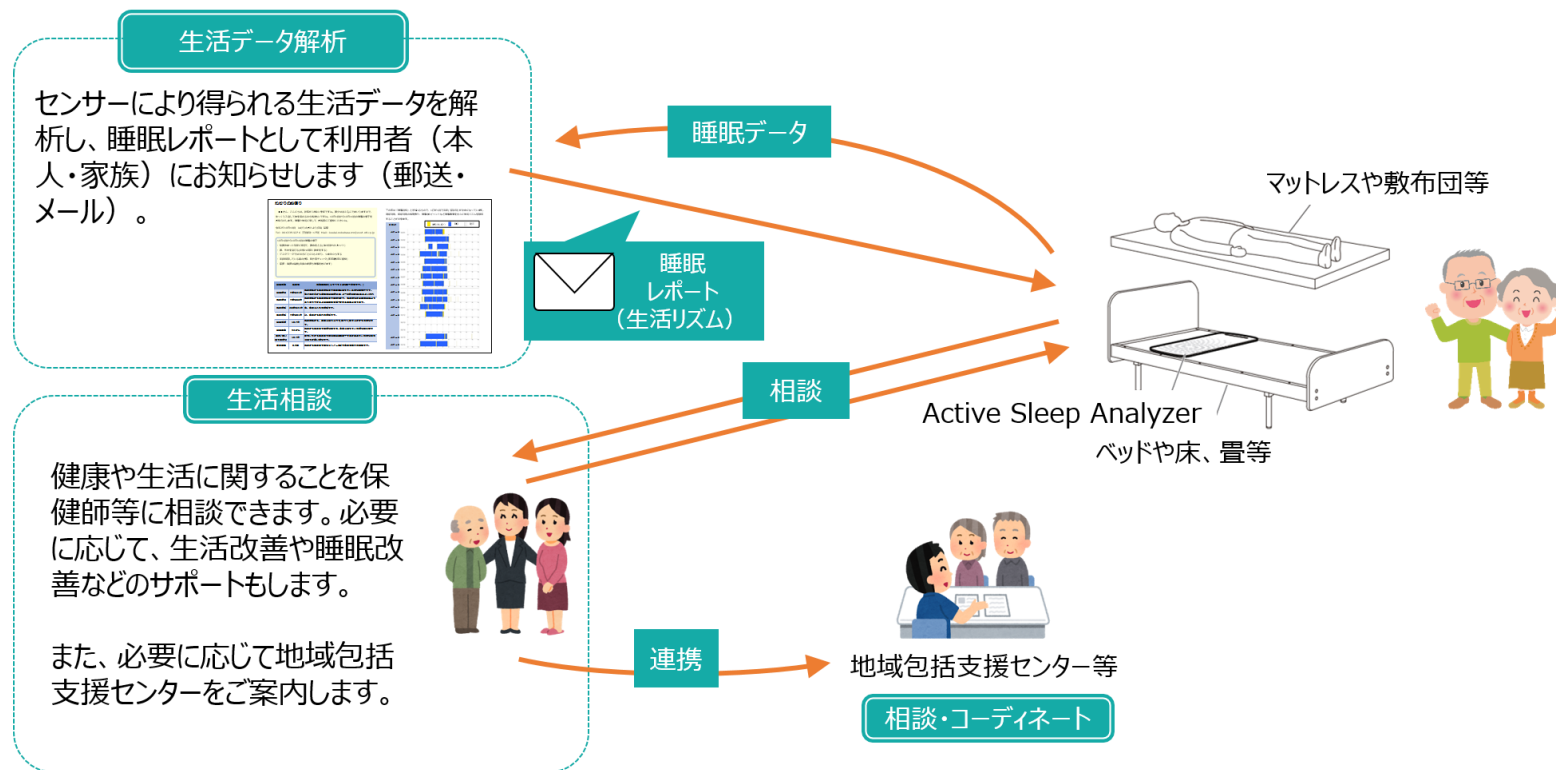
<p>デジタルの活用により目指す成果（数値）</p>	<p>【取組が目指すアウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組（実証）の参加者数：令和3年度～4年度で270名 <p>【取組が目指すアウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新サービスの販売件数：令和4年度100名、令和5年度300名、令和6年度600名（*数字は堺市内での販売件数） サービス導入により睡眠や健康の質の改善が見られた人の割合：令和4年度60%、令和5年度80%、令和6年度90% <p>【取組が目指す総合的なアウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費・介護給付費の抑制額：令和4年度6百万円、令和5年度20百万円、令和6年度40百万円（睡眠改善による目標額）
<p>本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> シート型の睡眠センサーを使用することで、高齢者の日常生活への負担を軽減しつつ、睡眠データをレポートとして紙で郵送することで、デジタル機器の習熟度によらずサービスを受けられるようにしている点 睡眠レポートをもとに日々の生活習慣を保健師等がヒアリングし、睡眠や生活習慣のアドバイスを行うことで、高齢者一人一人に寄り添ったアドバイスを提供している点 睡眠レポートは本人だけでなく家族にも配信され、また家族はアプリを利用することで毎日の睡眠状態も確認することができ、日々の健康状態を見守ることができる点 AIを活用して睡眠データを分析することで、睡眠時無呼吸症候群の傾向や認知機能の低下傾向を推定することができ、より早く受診するきっかけをつくることのできる点
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年7月 実証終了 令和4年8月～令和5年2月 データ集計・解析 令和5年3月 実証の最終結果の公表 令和5年5月 市内で最も高齢化率が高い南区において事業展開予定

注1： 行や列の追加は行わないでください。行や列を拡大していただくのは差し支えありませんが、最大2ページ以内で作成をお願いします。

注2： 以下の①または②のいずれかを選択

- ① 域内市町村の取組で、デジタルの活用により、次の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や地域の産業振興につながっているもの。
（・医療 ・教育 ・子育て ・物流 ・交通 ・農林水産業 ・中小企業 ・観光 ・防災）
- ② 域内市町村の取組で、高齢者、障害者などデジタルに不慣れな人々がデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる環境づくりを既に進めるなど、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる、「誰一人取り残されない」社会の実現に寄与しているもの。

あんしん睡眠サポート事業スキーム



【役割分担】

- ・NTT PARAVITA 株式会社
シート型睡眠センサー「Active Sleep Analyzer」の提供
睡眠データの分析による「睡眠レポート」の作成
保健師等による電話での健康アドバイスの提供
- ・NTT 西日本、パラマウントベッド
プロジェクト全体の企画・管理
・堺市
実証フィールドの提供、参加者募集
- ・大阪大学大学院医学系研究科
NTT PARAVITA が作成した「睡眠レポート」を医学的見地から分析
保健師等が健康アドバイスをする際のアドバイス内容の指導・監修
睡眠データの兆候の研究